

15 タイルの剥落防止補修(アンカーピンネット工法)

タイル張り見上げ、上げ裏部分の剥落防止 (※施工はメーカー指定のライセンス取得が必要です)

施工手順

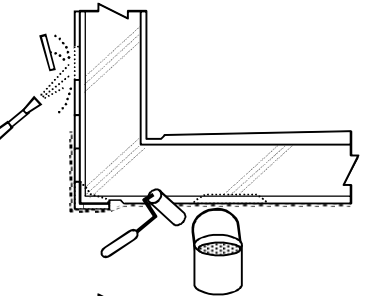
施工方法

補修範囲の確認	・目視、打診により補修範囲を確認し、 施工範囲を確認する。
下地表面処理	・高圧洗浄(15MPa以上)または、格子状 サンディングを行う。 (幅約100mm、ピッチ約500mm) ※サンディングの場合は、水洗い等の清掃を行う。
下地処理	・断面復旧、ひび割れ補修等の必要な下地補修を行う。 ・タイル下地の場合は、VPファイラーで目地埋めを行う。
プライマー処理	・エフレックスエフワンプライマーをローラーで塗布する。 塗布量:0.2kg/m ² ※プライマー塗布後、中塗作業への移行が1日 以上過ぎる場合は、プライマーを再塗布する。
中塗材の計量混合	・カーボピンネット中塗材を規定配合比率で計 量し混合する。 主剤20:硬化剤4:水(0.2~0.5)
中塗1回目	・プライマー塗布後、その日のうちに中塗材 をコテで塗布する。 塗布量 2.5~3.0kg/m ²
VMネット貼り付け	・中塗材塗布後、直ちにVMネットを中塗材 に埋込む様に金コテで押さえ貼付けに 埋込み固着させる。 ネットが浮いている場合は薄く中塗材を 上から再度塗布し完全に固着させる。 (ネットの継ぎ目は、100mm以上の重ね幅 でラップさせる。)
CPアンカーピン打設 エポキシ樹脂注入固定	・中塗材が硬化した後、規定の グリッドで穿孔位置を確定し、 マーキングする。 ・穿孔、孔内清掃 ・CPアンカーピン打設固定 ・注入材はE208又は、E209 をグラウトガンに充填し注入
中塗二回目	・アンカーピンの頭部にプライマ塗布した後、施工面へ 水打ちし、カーボピンネット中塗材を金コテで押さえ て均一に塗布する。塗布量 1.5kg/m ² (表面の水引き後、直ちに金コテで押さえ上げてを行い、 コテ目が目立つ場合は、サンダー処理仕上げを行う。)

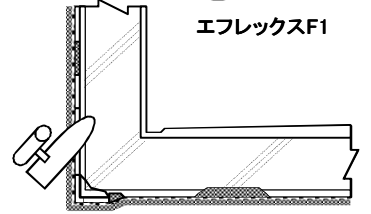
養生

※ 補修作業は気象条件に十分注意し、夏季のドライアウト及び冬季凍結障害が発生しないようにする。特に冬季作業は夜間の結露や凍結障害を防止するために早めの作業終了や障害防止対策を講ずる。

高圧洗浄(15MPa以上)



エフレックスF1



中塗材の計量混合

・カーボピンネット中塗材を規定配合比率で計
量し混合する。
主剤20:硬化剤4:水(0.2~0.5)

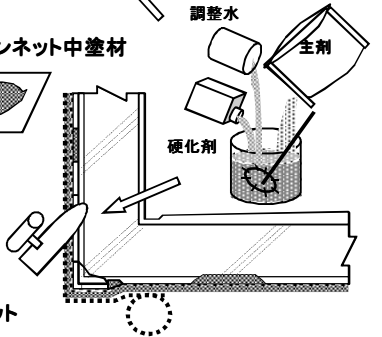
カーボピンネット中塗材



調整水

主剤

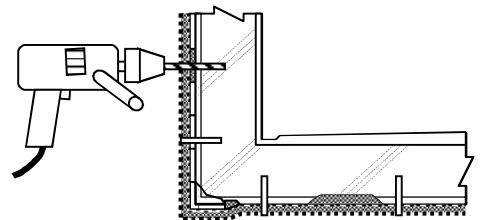
硬化剤



中塗1回目

・プライマー塗布後、その日のうちに中塗材
をコテで塗布する。
塗布量 2.5~3.0kg/m²

VMネット

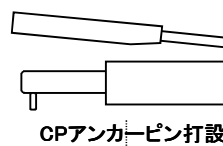


VMネット貼り付け

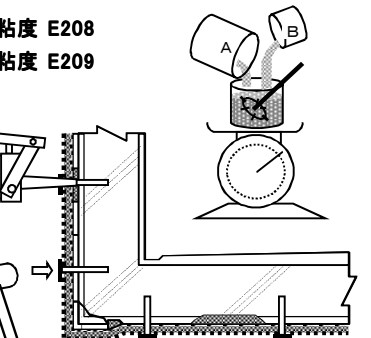
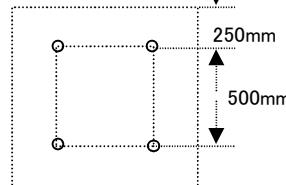
・中塗材塗布後、直ちにVMネットを中塗材
に埋込む様に金コテで押さえ貼付けに
埋込み固着させる。
ネットが浮いている場合は薄く中塗材を
上から再度塗布し完全に固着させる。
(ネットの継ぎ目は、100mm以上の重ね幅
でラップさせる。)

中粘度 E208

高粘度 E209



CPアンカーピン打設



カーボピンネット中塗材

調整水

主剤

硬化剤

